

アクア母ちゃん

野付漁協婦人部長
平賀由喜子さん



婦人部は組合の下部組織

うちの婦人部は、組合の下部組織として組合の事業と一体となって活動しております。

春の漁港清掃から始まり、植樹活動、アサリの移殖作業、料理教室などさまざまな活動に取り組んでおります。

植樹活動は、『食の安全・安心を求めて森・川・海は一つ』を基本理念に環境の整備に努めております。婦人部の森があるのも自慢して良い事と思います。また、首都圏コープと結び、消費者を巻き込んだ植樹を通して大消費地に向けたPRを行っております。

魚食普及活動も頑張っております。管内や全道の農協と交流しており、特に料理教室には力を入れ、消費地に年二回は婦人部員が講師となり、おいしく食べて、水産物を買っていただくよう宣伝してきております。

うちの婦人部のもう一つの特色は、赤十字奉仕団を兼ねているところで、地域に根ざしたボランティア活動を展開しています。

この地区は年間を通して漁があり、婦人部員のほとんどが水産加工場などで仕事をしており、人集めには大変苦労いたしますが、幹

部役員との協力で何とか事業をこなしております。

全道的に婦人部員は減少し、活動も低迷傾向にあります。うちの婦人部の将来は明るいと思っています。若い人たちがたくさんおられますので、子育てが終わると必ず入部してくれることでしょう。

私たち婦人部は、お父さんや息子達が楽しく喜んで漁業を続けていけるような家庭づくりとさらに組合事業に協力し、豊かな浜づくりに少しでも役立てばと思い頑張っています。

あなたのレポーター The Aquaculture

育てる漁業

平成14年7月1日
NO.350

発行所 / 財団法人北海道栽培漁業振興公社
発行人 / 杉森 隆
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目
(北海道第二水産ビル4階)
TEL(011)271-7731 / FAX(011)271-1606
ホームページ <http://www.saibai.or.jp>



指導所見聞記

～ 檜山北部地区～
所在地 渡瀬町字本町321
相当地区 渡瀬・久遠・野取間
スタッフ



指導所見聞記の漫画部分。指導所長、渡瀬部長、小栗部長の発言や、技術的指導、漁業の現状、環境整備の重要性などが描かれています。

泊村漁協網起こし見学ツアー

6月9日、泊村漁協で網起こし見学ツアーが行われました。同イベントは泊村漁協が宣伝のため、平成7年から年1回、6月上旬に開催しているもので、札幌近郊から60人が参加しました。

この日はあいにくのシケ模様で網起こしができなかったため、ツアー客は船で沖を一周して、波の合間をぬっての釣りを楽しみました。昼食には婦人部手作りのアンコウ鍋やカスベのヌタ漬、ホタテやホッケの網焼き、タコ刺などが出され、海の幸を満喫、また、臨時即売会で市価より安い海産物を買っていただきました。

CONTENTS 目次

漁業士発アクアカルチャーロード	2
野付漁協青年漁業士 櫻田金人さん	
平成14年度通常総会	3～7
事業実施計画	
アクア母ちゃん 野付漁協婦人部長	8
指導所見聞記 檜山北部地区	
水産技術普及指導所	8

若い人が積極的に参加できる活動を

野付漁協の青年漁業士、櫻田金人さんは青年部長でもあります。

「漁業士に認定されて1年半。特に漁業士としての活動はしてませんが、いろんな地域の人の話を聞く機会が増えたので、青年部活動を広げるのに何か役立てたいですね」

ホームページ開設準備中

青年部では今、ホームページを開設する準備をしています。

「そういうことの好きな部員がいて、4月の青年部の総会で話が出て、やるうってことになりました。取りあえず活動の紹介とか載せて、これを取っ掛かりに活動を活発化できたらいいなと思っています」

現在の青年部の主な活動は、春先の害魚駆除とイベントの手伝いなど。

「害魚駆除は5月に川に行って、サケの稚魚の敵、ヤマメやアメマスなどを網で獲っています。イベントは、えびまつりは手伝いで、白鳥まつりと水産フェアは青年部の店を出してホタテの浜焼きを売りますが、収益はなんぼにもなりません。イベントはけっこう部員が集まりますが、害魚駆除のような地味な活動は人集めに苦労します。もっと、若い人に出てきてほしいですね」

27才の櫻田さんがいう若い人とは、20才前後の人たち。青年部に入

りたてのころ、先輩たちの輪に入るのが好きだったという櫻田さんにとって、どうしてももっと若い人が積極的に集まってくれるようになるのが、悩むところだと話します。

「参加し出すとけっこう面白くなると思うんだけど。後はきっかけの問題ですね」

櫻田さんは、青年部活動でカキの養殖をしたいと考えています。

青年部でカキ養殖を

「青年部を卒業した先輩たちがつくってる研究会があって、自分も参加させてもらって一緒にカキの養殖をしています。厚岸からホタテ殻に付いた種を買ってきて、縄に挟んで吊るし、翌年バラして籠に入れて、だいたい2年で出荷できます。順調にいついて、青年部でも十分できそうなので、まだ許可はもらっていませんが、組合にやらせてほしいとお願いしているところです。みんなでできる仕事があれば、部の活性化につながるし、あわよくば活動費も稼げるかもしれません」

漁師になって7年。小さなころから漁師になるのが夢でした。夢をかえた今、目標は「おやじのような漁師になる」こと。

「おやじについて沖に行っていた時は、網にいる魚をただ獲ってくる



野付漁協青年漁業士 櫻田 金人さん

だけでした。それが、実際に漁師になってみて、最初のころは網を入れる準備とか何をやっていいかわからなくて、魚を獲るといことは簡単なものじゃないなと思い知らされました。よく昔は、漁師はバカでもできると言われてましたが、違いましたね。いろいろ考えなきゃならないことあるし、バカじゃ動まりませんよ。網を建てるにしたって図面のこととか、勉強しなきゃいけないことが、いっぱいあります」

櫻田さんの主な漁業はホタテとウニのけた網漁業、それにサケ定置の乗り組み員として、隣の標津町に働きに行っています。

ウニの餌をコンブ養殖で

「ウニは、量はあっても見入りが悪くて製品になりません。たぶん餌不足だと思います。コンブがなくなってるんですね。それで今、興味があるのがコンブの養殖。ウニの餌用に海中林の造成ができないかなと思って。これからいろいろ情報を集めて、どうしても形にできるのか、どんな形がいいのか、まだ、誰にも話してないので、これからいろんな人の意見を聞こうと思っています」

平成14年度通常総会開催

栽培漁業基金を1億4千万円増額

当会社の平成14年度通常総会が6月21日、札幌の第2水産ビルで開催されました。

提出議案の1.平成13年度事業報告及び収支決算について2.平成14年度事業計画及び収支予算の設定について3.会費の賦課について4.役員報酬について5.借入金の最高限度について6.役員退任慰労金について7.役員補欠選任について8.北海道栽培漁業基金(基本財産)の増額について、各々慎重に審議されました。

その結果、全議案とも満場一致で可決され、役員

の補欠選任では、正会員理事に金沢利之庶野漁協組合長と見野全白老町長が選任されました。



杉森 隆会長あいさつ

平成14年度通常総会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、連日の系統及び関係団体の総会に引き続きご出席を頂き、誠にありがとうございます。また、道庁水産林務部からは、公務で大変お忙しいにもかかわらず、村井

水産局長のご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。皆様方におかれましては、常日頃から、当会社の事業の推進にあたり、特段のご理解とご協力を頂いておりますことに対して、この機会をお借りして深く感謝申し上げます次第であります。

さて、昨今の水産業の諸情勢を見ますと、私は、平成14年度は、21世紀の水産業の将来方向を定め、そのグランドデザインを描くための重要な要(かなめ)の年となるのではないかと考えております。

国は、昨年6月に制定した水産基本法に基づき、今後10年を見通して定める施策推進の中期的な指針となる「水産基本計画」を、この3月に閣議決定し、国会に報告しました。また、同じく3月に、道は、「北海道水産業・漁村振興条例」を交付・施行し、平成14年度中に具体的な取り組みの方向を示す推進計画を策定することとしています。

私は、この「水産基本計画」と「北海道水産業・漁村振興条例」には、水産資源の持続的な利用と増大を図ること、漁業生産の場である漁場を含む自然環境の保全、そして地域に根ざし、地域の発展を担う水産業であることが共通する重要な基本理念として位置付けられていると受け止めております。

このような観点から、当会社の事業を見ますと、栽培漁業の推進に欠かすことができない種苗生産と指導事業、そして漁業環境の保全を図るための調査・設計事業を柱とする当会社の果たすべき役割とその責務の重大さを痛感するものであり、さらなる努力を傾注しなければならぬと決意するものであります。

本日の総会でご審議いただきます内容につきましては、後ほど詳細に説明をいたさせていただきますが、私から平成

13年度の事業の実施状況と本年度の事業計画の重点課題について申し上げます。

平成13年度の事業の実施状況であります。まず、ヒラメの種苗生産事業が孵化仔魚期の異常斃死の発生により、当初計画の70パーセントの放流に至ったことについてお詫びをいたしますとともに、種苗生産技術のさらなる向上を図って、二度と繰り返すことのないように万全を期してまいりる所存であります。なお、ニシン、クロソイ、ウニ、アワビについては、計画通りに終了することが出来ました。また、調査設計事業につきましても、公社を取り巻く厳しい状況の中でありましたが、浜の皆様のご支援を頂き、当初計画を上回る受託結果となり、厚くお礼申し上げます。

次に、平成14年度の事業計画であります。種苗生産では、日本海のニシンは、計画の120万尾を上回る143万5千尾を生産し、すでに、各地において放流を終えており、ヒラメ、クロソイ、ウニ、アワビについても、現在のところ順調に推移しており、計画通りに達成することができるものと考えております。また、公社の運営を支えています調査設計事業につきましては、受託状況と受託条件が、年々厳しくなってきておりますが、自然と漁業環境の保全が強く求められていることと浜の皆様の温かいご支援を支えに、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、公社におきましては、皆様もご承知の通り、平成11年に、公社設立20周年を迎えることが出来ました。この間、調査設計事業が大きく進展してきましたことは、浜の皆様の変わらぬご支援の賜物と考えております。このため、ささやかではありますが、浜の皆様への感謝の気持ちとして、当公社の「栽培漁業公社基金」から1億4千万円を「北海道栽培漁業基金」に繰り入れをし、栽培漁業の推進の一助としたいと考え、この総会に提案をしておりますので、よろしくご審議をお願いします。

最後になりますが、本日ご提案しております議案は、「平成13年度事業報告及び収支決算」など8件でございます。十分にご審議を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご出席の皆様方のご健康と大漁を祈念いたしまして、平成14年度通常総会のご挨拶とさせていただきます。

事業 実施 計画

(社)北海道栽培漁業振興公社の平成14年度事業計画が通常総会で承認されましたので、その内容を紙面上で紹介します。

1 栽培漁業指導事業

(1) 研修指導事業

栽培漁業の推進を図るために、栽培漁業に係る知識、技術の普及と指導を目的とした研修会を、水産技術普及指導所の支援を得て、道内各地において下記のとおり開催するとともに、会員等が行う研修事業の実施に協力します。

また、本道における栽培漁業に関する今日的課題について、全道の関係者を対象に「育てる漁業研究会」を札幌市において開催します。



研修事業計画

研 修 課 題	実施時期	開催地
鶴川沖のホタテ漁場について	7月	苫小牧市
マゴロ漁業と浮魚礁の設置効果について	8月	奥尻町
ホッキガイの生態と資源管理及び加工(飯寿司)の注意点について	9月	登別市
ホッケ漁業の現状について	10月	岩内町
コンブの穴あき症について	11月	浜中町
水温の変化と魚の回遊について	1月	松前町
環境について	1月	釧路町
育てる漁業研究会	1月	札幌市

(2) 広報普及事業

ア 機関紙「育てる漁業」の発行

栽培漁業に係る事業、試験研究、施設及び資料等の紹介、解説等を掲載した機関紙「育てる漁業」を、毎月発行、配布します。



イ 北海道沿岸漁場海況速報事業

栽培漁業推進上の基礎資料とするため、道内の沿岸漁場51か所において毎日観測した水温を、旬ごとにまとめるとともに過去10年の同旬平均水温を併記して速報するほか、年間の水温、気象をまとめて刊行、配布します。

この全道を網羅した日々の観測データは、道内唯一のもので広く有効に活用されているので、観測従事者の協力を得て今後も継続します。

ウ 種苗生産事業報告書の発行

公社が行っているヒラメ、ニシン、クロソイ、ウニ、アワビの種苗生産について、平成13年度事業の経過及び実績をとりまとめて発行、情報交換文献として関係機関に配布します。

(3) 漁業技術研究支援事業

漁村青少年グループ等が行う、栽培漁業に関する研究実践活動のうち、その実効が期待されるものに対し、所要経費の一部(1件50万円以内、実施期間3か年)を助成するとともに必要に応じ技術的な協力も行います。

また、地域の漁業振興に係わる取り組みのより一層の活性化を図るため、栽培漁業の推進に関連する

加工、流通さらには漁業経営についての取り組みに対しても支援します。

漁業技術研究支援事業計画

研 究 課 題	実 施 団 体
カキ(一粒)養殖試験事業	虻田漁業協同組合青年部
水産物産地流通強化事業(付加価値向上試験)	苫前漁業協同組合婦人部
カキ短期養殖試験事業	假法華漁業協同組合カキ養殖研究会
アワビ養殖技術開発試験事業	沓形漁業協同組合青年部
アワビ人工種苗放流追跡調査事業	羽幌町漁業協同組合焼尻地区青年部
キタムラサキウニ養殖企業化試験事業	ひやま漁業協同組合青年部瀬棚支部
ノリ養殖試験事業	利尻富士町ノリ養殖部会



(4) 技術開発試験調査事業

クロソイ親魚養成試験

平成10年に瀬棚センターで種苗生産した稚魚を用いて、平成11年9月から鹿部センターで親魚養成試験を開始しました。平成13年12月末には、体長28~36cmに成長したクロソイを採卵親魚用として瀬棚センターへ供給しました。本年度は新たに3cm種苗の飼育試験を実施します。

2 日本海沿岸性 ニシン種苗生産委託事業

道は、日本海地域の漁業振興対策の一環としてニシン資源増大に力をいれることとし、平成8年度から13年度までの6か年を第一期として事業を推進してきました。

平成14年度から19年度までの6か年を第二期として、初年度の本年は、全長45mm種苗を120万尾生産し、石狩、留萌、宗谷管内各地の10か所の中間育

成施設へ配布する計画でした。

2月22日に厚田村で、3月12日には小平町で漁獲されてた親魚から採卵してふ化から全長50~59mmまでの種苗生産管理を終え、5月20日から5月28日までに計画を上まわる132万8千尾を配布しました。更に、羽幌センターでは10万尾の種苗を全長70mmまで中間育成し、6月12日石狩湾に放流しました。

ニシン50mm種苗配布先一覧表

支 庁	配 布 先	配布月日	配布尾数(千尾)
石 狩	浜 益 (群別漁港)	5月22日	232
	厚 田 (古潭漁港)	5月24日	252
留 萌	小 平 (鬼鹿漁港)	5月20日	55
	苫 前 (苫前漁港)	5月20日	55
	羽 幌 (羽幌新港)	5月21日	190
	増 毛 (雄冬漁港)	5月23日	55
	留 萌 (礼受漁港)	5月23日	194
宗 谷	稚 内 (恵比寿漁港)	5月27日	160
	利 尻 (新湊漁港)	5月28日	80
	稚 内 水 試	5月27日	55
合 計			1,328

3 栽培漁業推進事業 (ヒラメ種苗生産事業)

餌料培養、採卵、ふ化仔魚飼育、分槽選別の課程を経て、30mm種苗296万尾を生産し、そのうち69万尾を6か所の民間中間育成施設へ配布します。

残りの227万尾は、羽幌、瀬棚両センターにおいて放流サイズの80mmまで中間育成し、6か所の民間施設と合わせて220万尾を放流します。



ヒラメ種苗生産計画

北海道栽培漁業羽幌センター

(110万尾放流体制)

[30mm種苗]	[中間育成]	[放流80mm]
羽幌センター 147万尾	羽幌センター 119万尾	90万尾
	民間施設	28万尾 - 20万尾
	羽幌 余市	14万尾 10万尾 14万尾 10万尾

北海道栽培漁業瀬棚センター

(110万尾放流体制)

[30mm種苗]	[中間育成]	[放流80mm]
瀬棚センター 149万尾	瀬棚センター 108万尾	81万尾
	民間施設	41万尾 - 29万尾
	寿都 大成 吉岡 知内	16万尾 12万尾 8万尾 6万尾 9.3万尾 6万尾 7.7万尾 5万尾

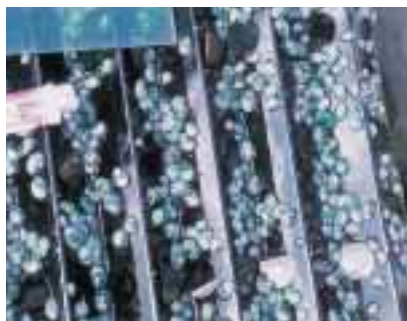
4 栽培漁業振興事業
(種苗生産等支援助成事業)

地域の協議会等が実施する種苗生産、中間育成、放流等の事業に対して、26件、41,270千円を振興基金運用益から助成します。



5 アワビ種苗生産事業

平成12年、13年及び14年春に採苗した種苗を育成管理し、本年度は115万8千個を供給します。また、本年度は平成15年に供給する35mmまでの種苗77万6千個、及び16年に供給する40mm以上の種苗13万7,500個の合計91万3,500個の採苗を行い、育成管理します。



栽培漁業振興事業実施計画

(単位：千円)

事業主体	対象魚種	助成対象事業費	助成内示額
島牧漁業協同組合	マソイ	3,763	1,809
寿都町漁業協同組合	クロソイ	3,117	1,246
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	クロソイ	5,088	2,035
戸井町	クロソイ	286	114
恵山町漁協青年部「海を育てる会」	マダラ	1,155	577
渡島東部海域栽培漁業協議会	クロソイ	1,633	653
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	クロソイ		
	マツカワ	6,924	3,325
	ハタハタ		
噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会	マツカワ	6,240	4,160
えりも町栽培漁業振興協議会	クロソイ		
	マツカワ		
	ハタハタ	5,850	3,031
	マガレイ		
	エソボラ		
様似町水産振興協議会	ハタハタ	1,396	698
	エソボラ		
浦河漁業協同組合	マツカワ	630	420
三石町	マツカワ		
	ハタハタ	1,521	828
	マガレイ		
	エソボラ		
静内漁業協同組合	クロソイ		
	マツカワ	6,356	3,354
	ハタハタ		
十勝管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	1,695	1,130
大津漁業協同組合	クロソイ	1,311	524
釧路市漁業協同組合	マツカワ	3,760	1,958
	クロソイ		
昆布森漁業協同組合	ニシン	845	420
厚岸漁業協同組合	ニシン	1,040	500
根室管内八ナサキガニ資源維持増大対策連絡協議会	八ナサキガニ	608	304
根室管内ニシン種苗生産運営委員会	ニシン		
	マツカワ	37,161	8,091
根室管内栽培漁業推進協議会	クロガシラガイ	3,683	1,840
斜里・網走・常呂海域マツカワ栽培漁業推進協議会	マツカワ	690	460
宗谷漁業協同組合	ナマコ	2,274	1,137
	ホッカイエビ		
利尻町	エソバフン	2,480	1,240
	ウニ		
増毛町	ナマコ		
	ニシン	2,156	962
	クロソイ		
留萌市	クロソイ	1,136	454
合計	26件	102,798	41,270

アワビ種苗本年度供給計画

(単位：個)

殻長区分	20~25mm	30~35mm	40mm以上	計
12年春産			252,500	252,500
13年春産	145,000	580,500		725,500
14年春産	180,000			180,000
計	325,000	580,500	252,500	1,158,000

6 ウニ種苗生産事業

平成13年秋に採苗及び平成14年春に採苗したエゾバフンウニ種苗を育成管理し、本年度は549万個の種苗を供給するとともに、平成15年に供給する364万5千個の秋採苗を行い育成管理します。

また、平成13年秋に採苗したキタムラサキウニ種苗を112万個供給するとともに、平成15年に供給する115万個の秋採苗を行い育成管理します。

エゾバフンウニ付着期の幼生は400万個を供給します。

また、アワビモ板9,280枚を供給します。

エゾバフンウニ種苗本年度供給計画

(単位：千個)

殻径区分	5mm	10mm	計
13年秋産	3,745	300	4,045
14年春産	1,345	100	1,445
計	5,090	400	5,490

7 調査設計事業

会員、北海道、開発局、その他からの委託による調査設計業務を処理します。



委託者	業務内容
会員	浅海漁場調査ほか
北海道	生息魚類相調査ほか
北海道土木現業所	多自然型川づくり調査、河川改修工事 漁業影響調査、漁港周辺生物調査ほか
開発局、開発建設部	漁場環境調査、漁業影響調査ほか
その他の機関	環境関連調査ほか

8 クロソイ種苗生産
委託業務特別会計

平成9年度から11年度までの3か年計画で行われた道の「クロソイ種苗生産委託事業」が終了しましたので、平成12年度から会員の要望により30mm種苗を生産し、要望先へ配布しています。本年度は、30mm種苗58万8千尾を生産し配布します。



クロソイ種苗の要望先一覧表

要望先	尾数(尾)
留萌市	20,000
増毛町	10,000
寿都町漁業協同組合	92,000
島牧漁業協同組合	20,000
ひやま漁業協同組合瀬棚支所	100,000
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	70,000
噴火湾渡島海域漁業振興連絡協議会	100,000
大津漁業協同組合	10,000
釧路市漁業協同組合	15,000
北海道立函館水産試験場	35,000
北海道立栽培漁業総合センター	5,000
漁業研修所	1,000
室蘭漁業協同組合	50,000
古平漁業協同組合	60,000
合計	588,000